

令和元年度第1回平塚市食育推進会議 次第

日 時 令和元年8月1日(木)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 平塚市保健センター
3階 会議室1・2

1 開会

- (1) 委嘱状交付
- (2) あいさつ
- (3) 委員自己紹介
- (4) 会長・副会長の選出

2 議題

- (1) 食育推進計画の事業に関する調書(平成30年度実績・令和元年度展開)について(資料1)
- (2) 中間評価アンケート結果[速報]について(資料2)
- (3) 令和元年度の予定について(資料3)

3 その他

4 閉会

<配付資料>

- ・令和元年度平塚市食育推進会議委員名簿
- ・平塚市食育推進会議条例
 - ・資料1 平成30年度平塚市食育推進計画の事業に関する調書・次期(令和元年度)取組概要
 - ・資料2 第2次平塚市食育推進計画中間評価アンケート結果[速報]について
 - ・資料3 令和元年度平塚市食育推進計画 予定表

令和元年度平塚市食育推進会議委員名簿

令和元年8月1日現在

団体名	役職等	氏名(敬称略)
学校法人 鎌倉女子大学	家政学部 管理栄養学科 教授	森政 淳子
湘南農業協同組合	組織部 組織指導グループ グループリーダー	河口 清代美
平塚魚商業協同組合	食品衛生指導員	松本 明
村井弦斎の会	事務局	小林 美和子
神奈川県栄養士会 (第6県民活動事業部会)	地域活動栄養士菜の花会 会長	高橋 暁子
平塚市食生活改善推進団体	会長	江原 洋美
平塚市私立幼稚園協会	園長(黒部丘幼稚園)	三浦 深雪
平塚民間保育園連盟	園長(中原保育園)	中久喜 直保美
平塚市立小学校長会	校長(豊田小学校)	杉山 朋子
平塚市立中学校長会	校長(春日野中学校)	久松 美代子
神奈川県立平塚農業高等学校	副校長	加来 功
一般社団法人 平塚市医師会	理事	倉田 あや
一般社団法人 平塚歯科医師会	理事	松本 文夫
神奈川県平塚保健福祉事務所	主任技師	川畑 明日香
市民委員		栗原 健成

任期: 令和3年5月31日まで

平塚市食育推進会議条例

(設置)

第1条 食育基本法（平成17年法律第63号。以下「法」という。）第33条第1項の規定に基づき、平塚市食育推進会議（以下「推進会議」という。）を置く。

(所掌事務)

第2条 推進会議は、平塚市食育推進計画（法第18条第1項の規定により本市が作成する計画をいう。）の作成等について審議し、及びその実施を推進する。

(組織)

第3条 推進会議は、委員18人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 食に関する分野の団体の代表者
- (3) 保育・教育分野の団体の代表者
- (4) 保健分野の団体の代表者
- (5) 公募に応じた市民

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第6条 推進会議に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、推進会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 推進会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 推進会議は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 推進会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決

するところによる。

(部会)

第8条 推進会議は、特定の事項及び専門的事項について調査審議させるため、部会を置くことができる。

(意見等の聴取)

第9条 会長は、推進会議の運営上必要があると認めるときは、推進会議に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、会長が推進会議に諮って定める。

附 則

この条例は、平成25年4月1日から施行する。

平成30年度平塚市食育推進計画の事業に関する調書・次期(令和元年度)取組概要

1 次期(令和元年度)取組の展開

	継続	拡充・充実	縮小	休止または廃止	統合	その他
件数	54	0	1	1	0	1

2 展開項目ごとの概要

縮小予定の事業

課名	計画事業名	次期取組概要
健康課	生活習慣病予防料理教室	開催地区を8地区から6地区に変更する。1地区ごとの教室内容を充実させるため。

休止または廃止の事業

課名	計画事業名	次期取組概要	次期取組での改善・工夫
市民情報・相談課	暮らしの講座	神奈川県食の安全・安心推進会議との共催事業で実施しているが、平成31年度は共催事業に選出されなかった。開催に向けて検討したが、市の単独開催は難しく、平成31年度は食に関する講座は実施しない予定。	今後は市単独で開催できるよう、講師謝礼等の予算措置に努める。

その他の事業

課名	計画事業名	次期取組概要	次期取組での改善・工夫
健康課	離乳食教室	離乳食教室9か月児～1歳6か月児の実施回数を12回から8回に変更。	離乳食完了以降の食事や間食について普及啓発できるように新規の教室を実施する。

基本施策（1） 家庭における食育の推進の取組み

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	こども家庭課	相談体制の充実	こども総合相談	地域の公共施設である「子どもの家」に出向き、乳幼児の子育てニーズを総合的に受け止め、親子とのふれあい遊びを行ったり、保育士が子育ての悩み相談に応じる。	・実施回数32回 ・参加親子延人数424人 ・相談件数37件(うち食育に関するもの13件)	・育児における食生活で悩みや相談に対応し、情報提供を行う事で、食事に対する不安の解消と安心を提供する。	<継続>	相談内容に応じて保健センターの栄養相談につないでいく。	
2	保育課		子育て支援事業	子育てサロンで育児講座の実施や相談、電話による相談を行う。	子育てサロンや電話による食事・栄養に関する相談件数 ・子育て支援センター 496件 ・つどいの広場もこもこ 90件 ・つどいの広場きりんのおうち 148件 ・つどいの広場どれみ 18件 ・つどいの広場ほけっと 6件 ・つどいの広場 ここにくらす 0件	子どもの食事や栄養に関する相談対応や情報提供を行うことで、食事に対する不安や悩みの解消を図る。	<継続>		
3	健康課		乳幼児健診・育児相談	幼児健診や育児相談の場で相談、乳幼児健診後の電話相談や、要望に応じて訪問や来所、電話、インターネット相談を行う。	乳幼児健診後の電話による相談 85件 産後ケア事業「ママはぐ」 198件 7か月児相談 361件 幼児健診での相談 781件 2歳児歯科健診での相談 246件 来所による相談 364件 電話相談 (妊産婦2件、乳幼児 306件) 訪問による相談 (妊産婦0件、乳幼児 22件) インターネット離乳食相談 21件 ネウボラルームはぐくみ 来所相談29件	食環境が大きく変化する妊娠期、乳幼児期の食に対する不安を軽減し、健康な身体づくりのための食の基盤を築くことができる。	<継続>		
4		就労者への情報提供	企業へチラシを配布し、健康講話の実施や健康相談を受け付ける。	神奈川県労働安全衛生協会平塚支部地区会で健康講話のチラシを配布した。	青・壮年期の食生活を見直す機会を作ることで、食を通じた健康づくりを意識づけることができる。	<継続>			
5		食育関連パンフレットの配付	婚姻届を提出する窓口に、新婚家庭向けの情報提供パンフレットを設置する。また、母子手帳を交付する際などに、父親になる方向けに『父子育児手帳』を配付する。『父子育児手帳』には、妊娠中の妊婦の食生活についてや育児に必要な離乳食、幼児食についても掲載している。	父子育児手帳配付数：1,646冊	生活が大きく変化するライフイベントにおいて、食生活を見直す機会を提供することができる。	<継続>			
6	母親父親教室	学習の場の充実	母親父親教室では、助産師・保健師・栄養士・歯科衛生士などの専門職が、安心安全なお産を迎えるための教室を行う。また、栄養士が妊娠中から産後に必要な食生活について、講話や実習など、妊婦やその家族を対象に体験型の教室を行う。	【母親父親教室】 開催回数 6回 参加者数 妊婦 102人 夫 55人 その他 2人 内 容 講話と妊娠期の食事1食分の試食	食生活が大きく変化する時期に、食に関する情報提供、体験を行うことで、時期に応じた食生活について理解することができる。	<継続>			
7	離乳食教室		各月齢に合わせ、離乳食の開始から卒乳までの内容を組み込んだ教室を行う。	離乳食教室5.6か月児 323人(母280人、父29人、祖父母14人) 離乳食教室7.8か月児 253人(母222人、父26人、祖父母4人、その他1人) 離乳食教室9か月～1歳6か月児 205人(母178人、父19人、祖父母8人) 実施回数 各12回 離乳食教室5か月～1歳6か月児 127人(母77人、父47人、祖父母3人) 実施回数 6回	離乳食期に保護者へ食生活の基礎について情報提供することで、乳幼児期の成長発達のための適切な食生活について普及啓発することができる。	<その他> 離乳食教室9か月児～1歳6か月児の実施回数を12回から8回に変更。	離乳食完了以降の食事や間食について普及啓発できるように新規の教室を実施する。		

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
8	健康課	学習の場の充実	幼児教育	2歳児歯科健診の会場で、歯科衛生士と栄養士が幼児と保護者に対して噛むことの大切さや生活リズムについての集団指導を行う。	26回の健診の中で、各5～6回ずつ子どもと保護者に向けた食育(早寝早起き朝ごはん)を行った。また、保護者向けには媒体を用いて野菜摂取勧奨を行った。	「噛む」ことの大切さを専門職から聞くことができる。2歳児とその保護者に対して生活リズムを整えることや朝ごはんを食べる必要性について伝えることができる。野菜摂取勧奨ができる。	<継続>		
9			思春期対策事業	思春期に必要な食生活や、将来、健康的な成人期を迎えるにあたっての教室を保健師、助産師、栄養士で行う。	公立中学校 2校(325人)	思春期に自分の適正体重や食事内容を知ることで、健康的な成人期を迎えるための食生活について理解することができる。	<継続>		
10			祖父母のための食育教室	保育所等で開催される敬老週間事業などへ出向き、祖父母を対象に食育教室を行う。	実施回数及び参加者数 教室開催園数 4園 参加者数 224人 資料配布園数 11園 配布数 925部	乳幼児期と高齢期における食育の普及を行うことができる。	<継続>		
11			子どもの生活習慣病予防対策事業	小児期から規則正しい生活習慣を身につけ、生活習慣病を予防するために、5歳児肥満度調査や5歳児生活実態調査、幼児や保護者を対象とした巡回教室、予防相談などを行う。	○5歳児肥満度調査:4～5月実施 ○5歳児生活実態調査:6月実施(隔年実施) ○巡回教室:実施回数42回(40園)、 参加者数1,748人(園児1,540人、保護者208人) ○子どもの生活習慣病予防相談:平成30年7月22日(日) 6組参加 ○3歳児肥満対策強化:通年	幼児期における適切な食生活や生活リズムについて、幼児、保護者、関係機関に普及啓発することができる。	<継続>		
12		情報提供の充実	地域依頼食育教室の開催	地域で実施されている子育て支援事業に出向いて、食育講話や個別の相談を行う。	実施回数及び参加者数 家庭教育学級 2公民館 参加者数 45人 子育て支援 13地区 参加者数 321人 子育てサークル 1地区 参加者数 24人 保育園 3園 参加者数 74人 他課共催・依頼教育関係 3回 参加者数 45人	地域で食に関する情報提供や技術支援を実施することで、生涯に応じたライフステージへの食育を行うことができる。	<継続>		
13		体験の場の充実	食育事業	食生活改善推進団体に委託し、地域住民が健康的な食生活の知識を身につけられるよう、講話や調理実習を取り入れた事業を行う。	実施日、地区、参加者数 ①平成30年11月24日(水) 大原公民館 6人 ②平成30年12月 1日(土) 金田公民館 18人 ③平成30年12月 8日(土) 須賀公民館 9人 ④平成31年 1月19日(土) 花水公民館 16人 ⑤平成31年 1月26日(土) 松原公民館 8人 ⑥平成31年 2月 2日(土) 金目公民館 6人 ①、②、③ お節料理 ④、⑤、⑥ 節分料理	若い世代に日本の食文化や適切な食生活について伝え、保護者と一緒に調理をすることで家庭で実践するきっかけを作ることができる。	<継続>		
14			親子で朝ごはんクッキング教室	未就学児とその保護者を対象に、バランスの良い朝食を簡単に調理し、試食します。また、食育クイズや生活リズムについての講話を行う。	5回実施 実施日:平成30年7月26、27、28、29、30日 対象:4～6歳の子どもと保護者、きょうだい 参加者数:132人(子ども 54人、保護者 59人、その他 19人)	子どもが調理に携わることで、食べ物や食べることに関心を持つことができる。保護者が子どもと一緒に家庭で食育を実施できる。	<継続>		

基本施策（2）学校・保育所等における食育の推進の取組み

課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	教育指導課	食に関する指導の充実	食に関する指導	各小中学校において、食育全体計画を作成し、食教育推進担当教員や栄養教諭及び学校栄養士等が連携して、食に関する指導(食べ物の働き、マナー、献立作成等)を行う。また、米作りや野菜の栽培・収穫体験をし、食材への興味・関心を育てる。	小中学校の食教育推進担当者、栄養教諭及び学校栄養職員が集まる食教育推進担当者会を開催した。本担当者会において、国・県・市の動向と取組について説明するとともに、平成29年度「食に関する指導」実施状況調査の結果を振り返った。また、栄養教諭からは、平成29年度の取組を紹介してもらった。それらをもとに、最後にグループ別協議を行った。各学校の全体計画をもとに、例えば総合的な学習の時間の中でバケツ稲作りを行い、作ったお米を使って家庭科の時間に調理実習を行った実践など、各学校における今年度の食教育の取組について情報交換を行った。また、栄養教諭・学校栄養職員との今後の連携の確認を行った。	各小中学校に食教育推進担当者を置き、市内全小中学校が食育全体計画を作成し、必要に応じて栄養教諭や学校栄養職員と連携しながら食に関する指導を行える。	<継続>	小中学校の食教育推進担当者、栄養教諭及び学校栄養職員が集まる食教育推進担当者会の内容をより充実したものとし、各校での実践に繋げていく。また、栄養教諭や学校栄養職員に、児童生徒に対する個別的な相談指導や保護者への助言、食教育の授業に関する支援、学校便り・給食便りへの情報提供、調理実習の支援等、さらに具体的に学校に関わってもらえるよう、連携を強めていきたい。
2				幼稚園において、お弁当の時間に食べることの楽しさを感じられるような指導を行います。また、野菜の栽培・収穫体験をし、食材への興味・関心を育てます。	お弁当の時間を中心に、しっかり噛んでゆっくり味わって食べることの大切さや、みんなで食べるとおいしいという体験を積み重ねていけるよう、食に関する指導を行った。また、園庭を利用して野菜等を植えたり、愛着をもって育てたりしながら、食べ物への興味関心を高めた。また、みかん狩り等、自然の恵みを感じられる場を保育に取り入れた。	野菜等を育てることにより、栽培や収穫の喜びを感じ、食べる楽しみにつながる。	<継続>	幼稚園での食育に関する情報交換や情報提供を行う。
3	学校給食課			各小中学校において、食育全体計画を作成し、食教育推進担当教員や栄養教諭及び学校栄養士等が連携して、食に関する指導(食べ物の働き、マナー、献立作成等)を行う。また、米作りや野菜の栽培・収穫体験をし、食材への興味・関心を育てる。	全校において、各学校の食に関する課題にあったテーマを設定し、給食時間、家庭科、学校保健委員会、その他で計2,126回指導を実施。 小学校 1,818回 中学校 308回	学校栄養職員・学校栄養教諭を通して、児童に望ましい食事のあり方等の食に関する指導を行い、時間、形態は学校の実態、裁量に合わせ、効果的な食教育のあり方を探りながら展開できる。	<継続>	
4	保育課			保育所において、保育士や栄養士が園児に対して野菜の栽培や調理体験、バイキング給食などを行う。	○ 園の食事や野菜の栽培を通じて、育てる・触れる・収穫する・調理する等の経験をし、皆で食べる楽しさを味わう。 ○ 給食の食材を使用して、クッキングをしたり、バイキング給食を計画し、実施している。 ☆クッキング保育 実施回数 延べ279回 延べ参加人数 8,899名 ☆バイキング給食 全園で実施 (頻度・実施年齢は園による) ☆主任保育士による食育 延べ102回 延べ参加人数 3,420名 ☆栄養士による決まった時間での食育は行わなかったが、巡回時に教室を回り、声掛けをしたり、クッキングに参加した。	食育年間計画を活用し、年齢にあった体験等を実施することで、食に関する興味関心を持つ心を育てる。 子ども達が食材に触れることにより、苦手なものも進んで食べられるようになったり、食材に関する話題が増え、食に関する興味関心を導く。	<継続>	

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
5	学校給食課	給食を活用した取組みの推進	学校給食地場産野菜等使用推進事業	学校給食における地場産農産物等の積極的な使用に努め、「地産地消」の推進を図る。また、給食の予定献立表や給食時間の放送、平塚産野菜PRキャラクターを用いた給食を実施し、「地産地消」について児童へ啓発を行う。	年間使用品目54品目中平塚産野菜26品目 品目ベース使用割合48.1% 重量ベース使用割合21.8% 野菜以外の地場産品については、アジ、カオリ麺、小松菜トマトパン、みかんパン、白パン、やまゆりポークを使用した。	給食を生きた教材として、地産地消の推進を行うことができる。また、教諭との連携により、学校給食における地場産品を題材にした授業を行うことで、児童の地場産農産物や農畜水産業への理解の増進につなげることができる。	<継続>		
6	学校給食課	給食を活用した取組みの推進	ふれあい給食	小学校に農業や漁業、畜産業の生産者及び関係者を招いて、小学生と一緒に給食を食べながら生産者の話を聞き、地域産業の理解や地産地消の推進につなげる。	市内28校中19校63クラスに生産者等関係者を招いて実施 【食材テーマ】 学校給食で使用している野菜全般……………19校 魚……………3校 豚肉……………1校 加工品……………1校 【関係団体等】 JA湘南、JA全農、平塚市漁業協同組合、やまゆりポーク生産者協議会、(株)フリーデンなどなど	ふれあい給食を通して、地域産業の理解や地産地消の推進につなげることができる。	<継続>		
7	保育課		給食試食会	保育所に園児の保護者を招き、園児と一緒に給食を試食する。また、栄養士の食育講話も行う。	周知方法…園だよりや園内掲示板で呼びかける。給食の準備も必要となる為、申込書によりあらかじめ参加人数の把握をする。 実施回数及び参加人数(公立9園) 試食会の実施…7園 延べ130名	食事の場がコミュニケーションの重要な場であることを理解し、年齢にあった味・量・盛り付け方等を知る。食事に対する不安や悩みの解消を図り、食の大切さに対する意識を向上させる。	<継続>		
8	学務課	相談・情報提供の充実	児童健康教室(子どもの生活習慣病予防対策事業)	小学校4年生の肥満度が高い児童を対象に、医師や栄養士、運動指導士が健康相談や運動指導を行う。	健康教室(平成30年11月4日(日)実施) 参加案内配布人数 151人 参加者 20人とその保護者 ・健康教室は、身体計測(血圧測定含む)・医師面談・運動教室・栄養相談を実施 ・医師3名、運動指導士1名、栄養士3名が従事 ・健康教室欠席届出者と当日欠席者の43人に対し、栄養士からの食物摂取アドバイスの冊子、医師作成の生活習慣病対策資料を配布	健康や食事について専門的な指導・助言を受けることができ、日々の食事摂取の大切さへの理解が深まる。	<継続> 参加者へのアンケートから、子ども自身が自分の体や生活習慣について考える良いきっかけとなった等の意見があがっており、生活習慣病の予防に効果があると考えられるため。	参加案内を配布した児童のうち半数以上は返信がないため、養護教諭や担任からの積極的な声掛けが必要である。	
9	保育課		開放保育	子育て家庭に対して、開放保育の場で献立表や食育だよりを配布し、食に関する情報提供や相談、簡単クッキング等を行う。	周知方法…園内掲示板、情報誌の発行、市ウェブでの広報 実施回数 全園 毎週1回 午前中2時間程度 参加人数 2~15名程度/回 クッキングの実施…開放保育参加者を対象として実施 実施園 1園 参加者 12組 24名	子どもの食事や栄養に関する相談対応や情報提供を行うことで、食事に対する不安や悩みの解消を図る。献立表やサンプルケースの展示・簡単クッキング等により、食に関する興味関心を導く。	<継続>		

基本施策（3）地域における食生活改善のための取組みの推進

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	健康課	生活習慣病の予防・改善のための食育の推進	健康教室(疾病別)	生活習慣病の予防・改善のための知識と実践的技術の習得ができるように調理実習を行う教室の開催や、講話と運動を交えた教室を開催する。	周知方法: 広報ひらつか、市ウェブ、周知チラシ、ほっとメール 【実習・講話形式】 糖尿病予防クッキング教室 2回19人 【試食形式】 CKD(高血圧)予防 1回21人 【講話形式】 糖尿病予防教室 2回29人 【保健指導】 糖尿病重症化予防対策事業「糖尿病研究室」 開催回数:①H30年度分6回②H29年度分フォロー3回③H28年度分フォロー2回 参加者数:①延人数181人②延人数73人③延人数56人	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育が実施できる。	<継続>		
2			更年期世代の女性に対して、課題や対処法について情報提供する。	●更年期の健康課題と食生活に関する対処法について講話を実施 実施日:平成30年9月20日(木) 実施回数、人数:1回 58人 ●女性の健康相談 女性の健康習慣に合わせて相談事業を開催 開催日:平成31年3月5日(火) 内 容:骨密度測定、スキンケア相談、健康相談 実 績:骨密度測定 45人、健康相談20人	ライフステージに応じた食育を実施することができる。	<継続>			
3	地域包括ケア推進課		健康教室(ライフステージ別)	ライフステージに応じた教室を実施し、年齢ごとの課題について、知識や技術を提供する。	<男の料理教室> 中央公民館と共催 開催回数:3回(2日間コース) 2日のうち1日を食生活改善推進団体へ委託 参加者数:42人 内容:男性対象の高齢者のための健康教室で低栄養予防など栄養についての講話と調理実習を実施。 <高齢者のためのいきいき料理教室> 中央公民館と共催 開催回数:22回 全回数食生活改善推進団体へ委託 参加者数:357人 内容:高齢者の低栄養予防など介護予防についての講話と調理実習 <ご長寿食事会> 開催回数:2回 参加者数:24人 内容:フレイル予防のための食生活改善や低栄養予防についての講話、食事の提供、主食の量を学ぶための米飯測定などを行う。 <「男の料理教室」友の会> 開催回数:6回 参加人数:62人 内容:男の料理教室に参加した参加者が自身の健康増進のため、料理のスキルアップや知識を学ぶため、講話と調理実習を実施。	高齢者特有の課題(低栄養・認知症など)について講話や調理実習を通して、高齢者の意識を高める。フレイル予防をテーマとし、低栄養予防を中心に高齢者の食生活について講話や調理実習を行う。	<継続> 「男の料理教室」友の会は教室運営を自主的にできるようにするためのサポートを行っていた。メンバーも17名となり福祉会館に団体登録ができ、自主的な運営や他団体への講師依頼の目途が立ったため、サポートは終了となる。		

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考	
4	健康課	生活習慣病の予防・改善のための食育の推進	運動教室	生活習慣病予防において大切な運動実践を通して運動の知識や技術の提供とともに、適正な食生活に向けた見直しを行う。	腹囲マイナス教室 周知方法: 広報ひらつか、市ウェブ、チラシ等 実施回数: 6回 参加者数: 115人 実施内容: 6日間コースの1日目と4日目に食事に関する講話を実施。3クール/年間。	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育が実施できる。	<継続>			
5			生活習慣病予防料理教室	地域で活躍している食生活改善推進団体に委託して、地区公民館で生活習慣病予防料理教室を開催する。	周知方法: 公民館だより 委託先: 平塚市食生活改善推進団体 実施内容: 地区会員による調理実習、健康課栄養士による講話 参加者数: 8地区130人	人とのふれあいを通じた食育、生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育が実施できる。	<縮小> 開催地区を8地区から6地区に変更する。1地区ごとの教室内容を充実させるため。			
6			健康相談	生活習慣病の予防・改善のため、生活環境に即した食事についてや介護予防につながる食事についての個別相談を実施します。	(健康相談) ヘルスアップ相談を24回実施 延べ相談者数224人 相談者希望日時 2回実施 延べ相談者数 2人 上記以外での来所相談 延べ相談者数 7人 生活習慣病を主訴とした電話相談 延べ相談者数 56人 家庭訪問 3回実施 延べ相談者数 3人	生涯におけるライフステージに応じた食育、生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施することができる。	<継続>			
7			地域包括ケア推進課	健康相談	生活習慣病の予防・改善のため、生活環境に即した食事についてや介護予防につながる食事についての個別相談を実施する。	内容: 食生活に関する相談 <訪問> 件数: 4件 延人数: 7人 <来所> 件数: 1件 延人数: 1人 <電話> 件数: 1件 延人数: 1人	個々の状況に合った食生活指導や食事療法へのアドバイスを行い、効果的に食生活改善を行う。	<継続>		
8			健康課	歯科健康教室	生活習慣病と歯科疾患との関係についての知識や、予防方法についての教室を開催する。	○歯科医からきく 健康の秘訣講座 開催回数: 1回 参加者数: 18人 ○歯科健康教室 お口の体操 開催回数: 2回 参加者数26人 口臭予防 開催回数: 1回 参加者数13人 大人のためのオーラルケア: 開催回数 1回 参加者数10人 ○糖尿病予防教室や女性のための健康教室などで歯周病予防について普及啓発 開催回数: 3回 参加者数: 128人	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施することができる。	<継続>	お口の体操講座を1回減らし、オーラルケア講座を年2回に変更。	
9				食に関する普及・啓発	食育ガイドや食事バランスガイドなどの活用	健康づくりのための食生活の実現に向けた教育の際、食育ガイドや食事バランスガイドなど、栄養バランスなどに配慮した食生活を送るための指針を活用する。	【活用状況】 食事バランスガイド: 母親父親教室、依頼教育、食生活改善推進員養成講座など 食育ガイド: 腹囲マイナス教室、メタボ予防教室など	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施することができる。	<継続>	

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
10	市民情報・相談課	食に関する普及・啓発	消費生活展	消費者団体の協力のもと、市民が食・環境・日常生活における幅広い消費生活に関心を持って行動してもらえるような情報提供を中心に開催する。	【消費生活展】 平成30年9月23日(日)10:00～15:30 ひらつか市民活動センター内にて実施。 同日、「市民活動センターまつり」と「弦斎まつり」の開催により、盛況で、多くの市民へ情報提供できた。 6消費者団体が出展、行政から当課を含め3課が出展。当日は各団体の説明を聞いて回るスタンプラリーを実施。スタンプラリー終了者には、生活のお役立ちグッズ、消費者被害未然防止チラシやパンフレットを配布した。スタンプラリーの終了者384人、消費生活展来場者数512人。	健康づくりや食文化継承のための活動をしている団体の参加もあり、食育の情報提供・普及啓発活動の周知を行うことができる。また、「市民活動センターまつり」、「弦斎まつり」と同日開催することにより、そのエリアにたくさんの人出があるため、より多くの来場者に、情報提供できる。	<継続> 市民活動センター移転のため、同時開催は難しい。新たな開催場所、時期等の検討をしているが、例年と同様な形式で開催する予定。		
11	健康課		健康づくり情報の発信事業	食を通じた健康増進に関する知識をFM放送(FMナパサ)やほっとメールひらつか(ひらつか子育て応援メール)等で発信する。	FM放送:2回 ホットメールひらつか:4回	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施することができる。	<継続>		
12			野菜プロジェクト	6月の食育月間に幼児健診を受診される保護者を対象として、「野菜を1日350g以上食べる」ためのPRや体験事業を実施する。また、ポスター等の掲示により普及啓発を行う。なお、2歳児歯科健診の集団指導時に保護者に対してフードモデルやポスターを用いて啓発を行い、子育て講座などでも保護者に対し野菜摂取量の確認と、講話を行った。	実施日:6月5日、7日、12日、14日、19日、21日 参加人数:延177人 実施内容:フードモデルを用いて、1日に必要な野菜摂取量を視覚に訴え、必要量を確認する 通年で「野菜1日350g食べましょう」のポスター掲示 2歳児歯科健診の集団指導で、保護者に対し1日に必要な野菜の量を周知 26回実施 930人(保護者人数) 子育て講座 6回実施 155人	生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育を実施することができる。	<継続>		
13	中央公民館	地域における食育に関する情報提供の充実	公民館事業での食育の推進	公民館事業において、料理教室などを通じた食育の機会を提供する。	地場産の食材を活用し地産地消を取り入れた事業や、食の安全性や食生活の見直し等を取り入れた事業を実施した。食そのものを主体とした事業だけでなく、違う趣旨の事業とあわせてその中で食について学習する機会を設けるなど、より多くの人に食についての興味を持ってもらう事業を実施した。 絵本の読み聞かせとあわせて、絵本の中に出てくる料理を実際に作ることで、食に関心を持たせることができた。 125事業・参加者 延 3,394人	幅広い世代の方が参加できる食育の学習機会を提供することで、食への関心を高めることができる。 地場産の食材を取り入れた料理教室を実施することで、農作物や生産者へ感謝の心を育むことができる。	<継続>	講師や協力者の高齢化が進んでいるだけでなく、参加者も高齢化が進んでいる。地域の協力が不可欠なので、後継者となる人材を育成しなければならない。	
14	地域包括ケア推進課		地域依頼教育	公民館や自治会、地区社会福祉協議会などと協働し、地域に出向いて食に関する健康講話や健康相談を行う。	<栄養講話> 開催回数:13回 参加者数:254人 内容:高齢者向けの栄養講話 <調理実習> 開催回数:7回 参加者数:113人 内容:調理実習を通しての栄養に関する講話	講話や調理実習を通して地域ごとに高齢者の食生活改善や健康のための知識を広める。	<継続>	依頼者や参加者の知りたいことなどニーズにあったテーマに沿った教室の開催。	
15	健康課		公民館や自治会、地区社会福祉協議会などと協働し、地域に出向いて食に関する健康講話や健康相談を行う。	実施回数:2回 参加者数:110人	人とのふれあいを通じた食育、生活習慣病予防につながる健康づくりのための食育が実施できる。	<継続>			

基本施策（4）食育推進運動の展開

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	健康課	マンパワーの育成や活動支援への取組み	食生活改善推進員の養成	地域での食生活改善活動に必要な知識と実践のための技術を習得するための講座を開催する。	○平塚市食生活改善推進員養成講座 12回実施、参加者数延213人 ○育成事業:役員会での助言指導 7回実施、参加者数延250人	人とのふれあいを通じた食育が実施できる。	<継続>		
2			食育に関するボランティアへの育成と活動への支援	食生活改善推進員が各地域の特色を活かした食生活改善活動を実施できるよう、活動支援や技術提供などを行う。 班長会等において、会員の育成や活動していくにあたっての支援を実施する。	総会、班長会、離乳食教室リハーサル、イベントのレシピ作成における助言・指導 実施回数:11回 延べ人数:369人	人とのふれあいを通じた食育が実施できる。	<継続>		
3		食育推進に関する情報提供の推進	食育活動の情報の共有化	地域で食育活動を実施している団体(食育推進会議委員)の活動状況を把握し、行政と市民の協働による食育の推進を図る。	食育推進会議開催 開催回数:2回	生涯におけるライフステージに応じた食育,人とのふれあいを通じた食育が実施できる。	<継続>		

基本施策（5）生産者と消費者の交流の促進及び環境との調和のとれた農水産業の活性化

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果（食育推進の視点）	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	農水産課	地産地消の推進	市内直売所	平塚市公式ホームページで市内の野菜、果樹、花きを販売する直売所を紹介する。	引き続き、市ウェブで生産者や直売所（市内の野菜・果樹・花きの生産者やJA湘南各支所直売所を紹介するページ）を紹介した。	市内生産者の情報を広く発信することにより、地産地消や食育の推進を図る	〈継続〉	掲載している生産者に内容の確認を行い、掲載内容についてより正確な情報発信を行う。また、掲載の効果の確認も行う。	
2			地場産品PRイベント	「美味花市（うまかいち）」や「JA湘南でてこいまつり」、「地どれ魚直売会」などのイベントを通じ、地場産農水産物のPRを行う。	≪JA湘南でてこいまつり≫ 実施日：11月10日（土）～11日（日） 平塚市総合公園 ≪地場産水産物の直売会「地どれ魚直売会」≫ 実施日：4月27日、5月25日、6月22日、8月3日、8月17日、9月28日、10月26日、11月16日、12月21日、1月25日、2月22日、3月22日、計12回	各イベントで、平塚産農水産物の販売やPRを行い、地産地消の推進を図る。	〈継続〉	新規の参加者を集めるため、幅広く周知をする。	
3			ふれあい給食事業	小学校に農業や漁業、畜産業の生産者及び関係者を招いて、小学生と一緒に給食を食べながら生産者の話を聞き、地域産業の理解や地産地消の推進につなげる。	対 象 5年生 内 容 特別授業、寄贈式（八幡小学校のみ）、ふれあい給食 【八幡小学校（やまゆりパーク）】 実施日 平成31年2月1日（金） 【吉沢小学校】 実施日 平成30年9月7日（金） 【真土小学校】 実施日 平成30年11月1日（木） 【港小学校】 実施日 平成30年12月4日（火）	農業、漁業、畜産業の生産者の話を直接聞くことで、食への興味をもってもらい理解を深める。	〈継続〉	次年度以降も継続する。	
4	産業振興課		湘南ひらつかふれあいマーケット	生産者と市民によるふれあいの場の創出や地場産業の振興を図るため、地場産品の販売拠点として毎月1回開催する。	周知方法 神奈川新聞やタウン誌への開催案内の掲載や市ウェブ等で周知を行った。 開催回数 12回 来場者数 約 7,700人 内 容 出店者会が中心となり、朝市交流等のイベントを開催することで、来場者が楽しみながら買い物できる朝市を開催することができた。	生産者が市民と直接ふれあいながら平塚産の野菜や干物、湘南ひらつか名産品等を販売することで地場産品の周知や理解が進み、地産地消の推進が図られる。	〈継続〉	・開始時間の変更（5月から）6時45分から7時に変更し、開催時間中により多くのお客様が会場内に滞在してもらうよう工夫する。 ・ポイントカードの還元率変更（5月から）5ポイントで50円券となるポイントカードから、15ポイントで300円券となるよう還元率を上げ、集客向上を図る。	
5	農水産課	農水産業に関する理解を深める	ひらつか花アグリ米づくり体験隊	消費者自らが米づくりに参加することで、農業の理解を深め、本市の米の魅力を再発見する。地元のプロ農家が講師になり、家族で田植え、草とり、収穫体験（稲刈り体験、乾燥・もみすり機の作業見学）後、自分たちで作ったお米を受け取る一連の体験事業を行う。	■参加者 12家族42人 ■実施結果 6月23日 田植え体験 7月28日 草取り体験 ※悪天候の為、未実施 10月20日 収穫体験（稲刈り体験） 10月21日 収穫体験（もみすり見学）	米づくりの過程を体験することで食と農のつながりについて理解を深める。	〈継続〉	平成30年度までは参加費15,000円で米30kgを提供していたが、平成31年度は参加費10,000円で玄米20kgにすることで、価格を安くして参加者の増加を図る。	

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
6	農水産課	農水産業に関する理解を深める	親子ふれあい体験(農業)	ひらつか花アグリ内で、農産物の栽培管理や収穫を体験する親子野菜づくり教室、採れたて野菜調理教室を開催する。	親子野菜づくり教室《春の部》 ■参加者:6組16名 ■実施結果 4月21日:種、苗植え付け体験 6月2日:管理作業、種まき体験 7月21日:収穫体験、採れたて野菜調理体験 親子野菜づくり教室《秋の部》 ■参加者:4組12名 ■実施結果 8月25日:種、苗植え付け体験 9月29日:草取り・管理作業体験 12月1日:収穫調理体験	親子そろって野菜づくりの過程を体験し、収穫直後の野菜を食べることで旬で新鮮な農産物のおいしさや食の安全管理の大切さについて理解を深める。	<継続>	春の部は例年通り対象を小学生と保護者とするが、秋の部は対象を小学生以上から高齢者まで(案)として幅を広く設定することで参加者の増加を図る。	
7			ヒラメ稚魚放流、親子交流海体験	小学生を対象に遊漁船に乗船し、ヒラメの稚魚を放流する体験を船上から行う。	・ヒラメの稚魚放流(小学5年生) 主催 平塚市漁業協同組合 実施日 6月25日(月) 参加者 115名	稚魚の放流や環境面から海を直接見ることで、水産業に親しみと理解を深めてもらう。	<継続>	次年度以降も継続する。	
8		市民農園の利用区画数の増加	市民農園	農業委員会等関係団体と連携しつつ、毎年1園程度開設する。	市民農園の開設についてホームページでの周知を行ったが、開設に適した候補地が現れなかったため開設の支援を行わなかった。	市民農園で農作業をすることで、農業の難しさと、収穫の喜びを家族で実感することにより、食べ物の大切さを認識できる。様々な農作物を栽培することで、食べ物に興味を持ち、食事の大切さを再確認できる。	<継続>	次年度以降も継続する。	
9		水産業を体験する機会の充実	体験乗船	小学生を対象に遊漁船に乗船し、沖に張られた定置網や潮目を観察した後、相模湾を遊覧する。	ヒラメ稚魚放流体験に同じ	地元漁業者が働く海を直接見ることで、水産業に親しみと理解を深めてもらう。	<継続>	次年度以降も継続する。	
10		魚食の普及活動	魚食普及事業	湘南ひらつか魚まつり朝市、魚のさばき方教室などを通して、魚食の普及を図ります(湘南ひらつか魚食普及協議会主催)。	主 催 湘南ひらつか魚食普及協議会 周知方法 広報ひらつか、市ウェブ及び関連施設でのポスター掲示 実施回数 魚まつり朝市(1回)参加者数 約2,900人 魚のさばき方教室(5回)参加者数 81人	平塚漁港に水揚げされた水産物等の購入やさばく機会を増やし、地産地消や魚食の推進を図ることができる。	<継続>	次年度以降も継続する。	

基本施策（6）食文化の継承、展開のための活動の支援

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	社会教育課	村井弦齋による食育の思想の継承	村井弦齋まつり	平塚に居住し、食文化の向上と小説の大衆化に寄与した、時代の先駆者村井弦齋の遺徳を偲び、その業績を市内外に発信・定着させるとともに、まちおこしの一環となることを目的に第19回村井弦齋まつりを開催した。なお、弦齋まつりの円滑な運営と効果的な実施のため、村井弦齋まつり実行委員会を設置し、実行委員会がまつりの準備・運営を行った。	第19回村井弦齋まつり ・事業の周知方法 広報ひらつか9月第1金曜日号掲載、ポスター掲示、チラシ配布、記者発表 (同日に開催した「ひらつか市民活動センターまつり」「みんなの消費生活展」を開催) ・開催日時及び来場者数 平成30年9月23日(日) 10:00~14:30 1,399人 ・食道楽レシピ再現料理の試食(りんごジャム(「食道楽冬の巻付録第71」より)) ・平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」の参加 ・「食を楽しむ」をテーマとして実施した。	当まつりでは弦齋のパネル展示や書籍の朗読等により村井弦齋に関する情報を得ることができるだけでなく、初めて参加する方でも親しみやすい食道楽クイズや再現料理の試食など食育につながる取り組みもあり、本事業を通じて村井弦齋という人物や食育について参加者に周知することができた。	<継続>		
2	健康課	食文化を継承する活動に対する支援	食育ボランティアの活動に対する支援	地域で食文化を継承する教室を始め、様々な活動を展開している食育ボランティアに対し、支援を行う。	定例会講話 :2回115人 献立監修、助言:2回 4人	人とのふれあいを通じた食育が実施できる。	<継続>		
3	学校給食課	食文化の継承事業の充実	学校給食における食文化の継承	学校給食での行事食を通じて、食文化や食習慣を伝える取り組みを行う。	4月:入学・進級祝い(お祝いデザート) 5月:端午の節句(柏餅) 6月:歯の衛生週間 (凍り豆腐のみそ炒め、さつまいもスティック、昆布と豚肉の炒り煮、ひじきの佃煮、いりどり、いわしの青のりから揚げ) 7月:七夕(星形メンチカツ、七夕汁、七夕水まんじゅう) 7月:半夏生(タコさん焼き) 9月:十五夜(月見団子) 10月:ハロウィン(かぼちゃグラタン) 11月:紅葉(ふきよせごはん) 12月:冬至(とりのゆず風味焼き、かぼちゃほうとう) 12月:クリスマス(クリスマスデザート) 1月:正月 (松風焼き風ハンバーグ、なます風サラダ、白玉雑煮) 1月:鏡開き(おしるこ) 2月:節分(いわしの中華ソース、福豆) 2月:防災給食(防災用食品のアルファ米を使用したカレーライス) 3月:ひな祭り(五目ずし、ひなあられ) 3月:卒業祝い(赤飯)	行事食を通して食文化の啓発ができる。	<継続>		

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
4	中央公民館	食文化の継承事業の充実	公民館における食文化継承事業の実施	地域の協力を得て、家庭で作られる機会が少なくなった季節の料理(おせち料理など)や、伝統行事(だんご焼きなど)の食文化を継承する講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の食生活改善推進委員等の協力や、健康課・地域包括ケア推進課との共催等により、おせち・節分等をテーマとした「季節の料理教室」を実施した。10事業 参加者数 延126人(須賀、松原、花水、中原、横内、金目、金田、旭北) ●手打ちそばを作り、日本の食文化に関心を持ってもらう取り組みをした。3事業 参加者数 延42人(中原、横内、土屋) ●家庭で作られる機会が少なくなった味噌を作り、食文化の継承を図った。1事業 参加者14人(須賀) ●家庭で作られる機会が少なくなった和菓子を作り、食文化の継承を図った。6事業 参加者数 133人(なでしこ、神田、大神、岡崎、城島) ●地区のだんご焼きに持っていくために「おだんご作り教室」を小学生とその保護者を対象に実施した。1事業 参加者68人(金田) ●地域団体との共催により、「もちつき体験」や「竹の子まつり」を実施した。2事業 参加者371人(城島・金目) 合計 23事業 ・ 参加者数 延1,161人	昔から受け継がれてきた料理や伝統行事の食文化を理解し、食の大切さを再認識することができる。食を通して家族や地域のつながりを深めることができる。	<継続>		

基本施策（7）食の安全性、栄養・その他食に関する調査、情報提供

	課名	取組みの名称	計画事業名	事業内容	平成30年度事業実績	事業の効果(食育推進の視点)	次期取組	次期取組での改善・工夫	備考
1	市民情報・相談課	食の安全・安心に関する講座の開催	暮らしの講座	市民が自立した消費者を目指すための支援として、専門家を講師に招いた講座を開催する。講座では、食の安全性等をテーマにした幅広い消費生活に関する知識や情報を提供する。	【暮らしの講座】 平成30年10月30日(木)10:00~12:00 神奈川県食の安全・安心推進会議と共催。 平成30年度かながわ食の安全・安心キャラバンの1講座として開催。 参加者数 13人 内容:講義 講師 厚生労働省横浜検疫所食品監視課職員 サントリー-MONOZUKURI株式会社 品質保証推進部スタッフ テーマ「輸入食品の安全・安心を守るために ～検疫所の業務と事業者の取組み～」	市民が輸入食品に関する正しい知識を身に着け、食品の安全・安心への理解を深めるとともに、自立した食生活を送ることができるようになること。	〈休止または廃止〉 神奈川県食の安全・安心推進会議との共催事業で実施しているが、平成31年度は共催事業に選出されなかった。開催に向けて検討したが、市の単独開催は難しく、平成31年度は食に関する講座は実施しない予定。	今後は市単独で開催できるよう、講師謝礼等の予算措置に努める。	
2	学校給食課	学校給食での取組の推進	学校給食での食の安全	残留農薬検査、O-157細菌検査、一般細菌検査、放射性物質検査を実施する。	○物資選定委員会を開催し、各食材が食品衛生法の基準にあったものであるか、産地、加工地、成分表、各検査証明書等で安全性の確保に努めた。 市物資選定委員会 2回開催 共同調理場物資選定委員会 11回開催 ○食材や提供食について、残留農薬検査、O-157細菌検査、一般細菌検査、放射性物質検査を実施した。 残留農薬検査 2回実施 O-157細菌検査 3回実施 一般細菌検査 4回実施 放射性物質検査 4回実施	各検査を実施することで、食の安全を実証できる。	〈継続〉 食の安全を実証するため、引き続き各検査を実施する。		

平塚市民の健康意識及び食育推進のためのアンケート調査結果

目的 本市の保健事業及び食育を推進していくための基礎資料として活用するとともに、平塚市健康増進計画、平塚市食育推進計画の達成状況を確認するため。

調査対象 2019年4月24日現在で住民基本台帳に登録された20歳以上の男女3,000人。☒

抽出方法 住民基本台帳から無作為に抽出

調査方法 郵送によるアンケート方式（無記名回答方式）

調査期間 2019年5月8日～2019年5月31日

回収結果 有効回答数（率）1,270件（42.3%）

性別・年齢別回収結果

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
男性	37	57	75	77	104	121	47	1	519
女性	53	83	113	107	134	157	77	1	725
未回答	2	2	2	6	3	3	7	1	26

地区別回収結果

地区	標本数	回収数	地区別回収率	回収率
海岸	470	232	49.4%	18.3%
平塚	472	197	41.7%	15.5%
大野	676	263	38.9%	20.7%
豊田	63	20	31.7%	1.6%
城島	48	21	43.8%	1.7%
岡崎	112	56	50.0%	4.4%
金田	119	57	47.9%	4.5%
神田	286	108	37.8%	8.5%
金目	208	87	41.8%	6.9%
土沢	76	30	39.5%	2.4%
旭	470	199	42.3%	15.7%
合計	3000	1270		42.3%

職業

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
学生	13.0%	0.7%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
自営業	1.1%	4.2%	7.4%	6.8%	12.9%	8.9%	5.3%	0.0%	7.6%
社員	58.7%	64.8%	48.9%	47.4%	15.8%	2.1%	0.0%	33.3%	29.4%
パート	15.2%	7.7%	22.6%	25.3%	24.1%	8.9%	0.0%	33.3%	15.7%
家事	9.8%	19.7%	13.7%	14.7%	26.6%	30.6%	14.5%	0.0%	20.5%
無職	2.2%	2.8%	6.8%	5.3%	20.7%	47.7%	77.9%	0.0%	24.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	2.3%	33.3%	0.7%

家族構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
1人	17.4%	4.9%	8.9%	8.9%	16.2%	16.0%	19.1%	0.0%	13.1%
夫婦	15.2%	16.9%	9.5%	18.4%	35.7%	46.6%	29.0%	0.0%	27.2%
2世代	59.8%	72.5%	71.6%	58.9%	38.2%	31.3%	33.6%	66.7%	49.8%
3世代	6.5%	4.2%	8.4%	11.6%	6.6%	3.6%	7.6%	0.0%	6.8%
その他	1.1%	1.4%	1.6%	2.1%	3.3%	2.5%	10.7%	0.0%	3.1%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.1%

問5 あなたが朝食を食べる頻度はどのくらいですか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
ほとんど毎日	68.5%	76.1%	76.8%	81.6%	88.0%	96.4%	96.9%	66.7%	85.4%
週に4~5日	8.7%	9.2%	4.7%	3.2%	2.9%	1.8%	0.0%	0.0%	3.8%
週に2~3日	7.6%	5.6%	8.9%	5.3%	3.3%	0.7%	0.0%	0.0%	4.1%
週に1日	3.3%	1.4%	1.1%	3.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
月に2~3日	3.3%	1.4%	2.1%	0.5%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	1.0%
食べない	8.7%	6.3%	6.3%	5.8%	3.7%	1.1%	1.5%	0.0%	4.3%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	33.3%	0.2%

問6 あなたは朝食を同居の方と食べるのはどのくらいありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
ほとんど毎日	14.1%	38.7%	32.6%	33.2%	44.4%	60.1%	54.2%	66.7%	42.7%
週に4~5日	7.6%	2.8%	6.3%	2.6%	6.2%	3.9%	2.3%	0.0%	4.5%
週に2~3日	12.0%	20.4%	20.5%	20.0%	9.1%	5.3%	0.8%	0.0%	12.2%
週に1日程度	16.3%	14.1%	9.5%	8.9%	6.2%	2.8%	1.5%	0.0%	7.5%
ほとんどない	31.5%	19.0%	22.1%	25.8%	17.4%	11.0%	19.8%	0.0%	19.4%
一人暮らし	17.4%	4.9%	8.9%	9.5%	16.2%	16.4%	19.1%	0.0%	13.2%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	2.3%	33.3%	0.6%

問7 あなたは夕食を同居の方と食べるのはどのくらいありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
ほとんど毎日	38.0%	56.3%	52.1%	55.3%	62.7%	70.5%	60.3%	66.7%	59.0%
週に4~5日	14.1%	9.9%	14.2%	10.5%	9.1%	3.9%	2.3%	0.0%	8.7%
週に2~3日	21.7%	19.0%	17.4%	14.2%	6.6%	2.8%	3.8%	0.0%	10.7%
週に1日程度	2.2%	5.6%	4.2%	4.2%	2.1%	1.8%	2.3%	0.0%	3.1%
ほとんどない	6.5%	4.2%	3.2%	5.8%	3.3%	4.6%	11.5%	0.0%	5.1%
一人暮らし	17.4%	4.9%	8.9%	9.5%	16.2%	16.4%	19.1%	0.0%	13.2%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.8%	33.3%	0.2%

問8 体を動かすなどの運動を30分以上している日はどのくらいありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
毎日	9.8%	6.3%	7.4%	6.8%	19.5%	25.6%	21.4%	66.7%	15.3%
週に5～6日	12.0%	6.3%	7.9%	8.9%	10.0%	11.4%	12.2%	0.0%	9.8%
週に3～4日	15.2%	8.5%	15.3%	10.5%	16.2%	26.0%	13.0%	0.0%	16.1%
週に2日	9.8%	11.3%	13.2%	10.0%	12.9%	10.0%	13.0%	0.0%	11.4%
週に1日	10.9%	14.1%	12.1%	20.0%	10.0%	7.8%	6.1%	33.3%	11.5%
なし	42.4%	50.0%	42.6%	41.6%	27.0%	14.9%	25.2%	0.0%	32.3%
その他	0.0%	2.8%	1.1%	1.1%	1.7%	0.7%	3.1%	0.0%	1.4%
未回答	0.0%	0.7%	0.5%	1.1%	2.9%	3.6%	6.1%	0.0%	2.3%

問9 その運動はどれくらいつづいていますか。(問8ではいと回答した方で集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
1年以上	77.4%	75.7%	75.9%	82.6%	87.6%	87.8%	87.8%	66.7%	83.8%
1年未満	18.9%	24.3%	24.1%	17.4%	11.8%	11.4%	10.0%	33.3%	15.4%
未回答	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.9%	2.2%	0.0%	0.8%

問10 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)について知っていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
どんなこと(状態)か知っている	6.5%	4.9%	6.8%	14.2%	17.4%	9.6%	5.3%	0.0%	10.2%
名前は聞いたことがある	13.0%	19.7%	15.8%	22.1%	23.2%	30.2%	18.3%	0.0%	21.8%
知らない	77.2%	72.5%	75.3%	60.0%	56.0%	54.8%	66.4%	66.7%	63.7%
未回答	3.3%	2.8%	2.1%	3.7%	3.3%	5.3%	9.9%	33.3%	4.3%

問11 ここ1か月間、睡眠による休養が十分にとれていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
とれている	31.5%	21.1%	20.0%	21.6%	32.8%	45.2%	53.4%	66.7%	32.8%
まあとれている	48.9%	54.2%	56.8%	50.5%	50.6%	39.5%	34.4%	33.3%	47.6%
あまりとれていない	19.6%	19.7%	21.1%	25.3%	12.4%	11.7%	6.1%	0.0%	16.1%
まったくとれていない	0.0%	4.2%	2.1%	1.6%	1.2%	0.4%	1.5%	0.0%	1.5%
未回答	0.0%	0.7%	0.0%	1.1%	2.9%	3.2%	4.6%	0.0%	2.0%

問12 現在、ストレスがありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
大いにある	20.7%	20.4%	29.5%	21.6%	13.7%	7.1%	13.0%	0.0%	16.9%
少しある	53.3%	64.1%	58.4%	62.6%	60.6%	51.2%	40.5%	66.7%	56.3%
ない	19.6%	7.7%	6.3%	12.1%	19.9%	32.4%	34.4%	0.0%	19.5%
わからない	6.5%	7.0%	5.3%	2.1%	2.5%	5.7%	8.4%	33.3%	5.0%
未回答	0.0%	0.7%	0.5%	1.6%	3.3%	3.6%	3.8%	0.0%	2.2%

問13 お酒を飲む頻度はどれくらいですか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
毎日	3.3%	10.6%	15.3%	16.3%	19.5%	18.1%	12.2%	0.0%	15.1%
週に5～6日	0.0%	2.8%	4.7%	10.5%	6.2%	3.9%	3.1%	0.0%	5.0%
週に3～4日	3.3%	7.7%	7.9%	6.3%	5.8%	3.6%	1.5%	0.0%	5.3%
週に1～2日	29.3%	14.8%	16.3%	12.1%	7.9%	9.3%	3.1%	0.0%	11.9%
ほとんど飲まない	37.0%	35.2%	31.6%	29.5%	26.1%	18.9%	22.9%	0.0%	27.2%
全く飲まない	27.2%	28.2%	24.2%	24.2%	30.3%	43.1%	52.7%	100.0%	33.3%
未回答	0.0%	0.7%	0.0%	1.1%	4.1%	3.2%	4.6%	0.0%	2.2%

問14 1日に飲むお酒の量はどれくらいですか。(問13で週1～2日以上と回答した方で集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
1合未満	48.5%	51.0%	46.4%	43.0%	41.1%	52.0%	61.5%	0.0%	47.4%
1合以上～2合未満	42.4%	39.2%	34.5%	34.9%	29.5%	26.5%	38.5%	0.0%	33.2%
2合以上～3合未満	6.1%	5.9%	13.1%	17.4%	23.2%	15.3%	0.0%	0.0%	14.4%
3合以上	3.0%	3.9%	6.0%	3.5%	6.3%	6.1%	0.0%	0.0%	4.9%
未回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%

問15 現在の喫煙状況をお答えください。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
吸っていない	76.1%	63.4%	52.1%	61.6%	56.4%	64.8%	75.6%	100.0%	62.7%
過去に吸っていた	10.9%	26.8%	24.7%	25.8%	23.7%	23.1%	16.0%	0.0%	22.6%
吸っている	12.0%	9.9%	23.2%	12.1%	16.2%	10.0%	2.3%	0.0%	12.8%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.5%	3.7%	2.1%	6.1%	0.0%	2.0%

問16 タバコを吸わない人のことを考えて分煙を心がけていますか。

(問15で吸っていると回答した方で集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
はい	100.0%	92.9%	86.4%	91.3%	82.1%	78.6%	66.7%	0.0%	85.8%
いいえ	0.0%	7.1%	11.4%	8.7%	15.4%	17.9%	33.3%	0.0%	12.3%
未回答	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.6%	3.6%	0.0%	0.0%	1.9%

問17 受動喫煙についてうかがいます。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
受動喫煙を知っているので、「受動喫煙をしない・させない」ための行動をとっている	62.0%	59.2%	53.7%	59.5%	49.8%	32.0%	19.1%	33.3%	46.6%
受動喫煙を知っているが、「受動喫煙をしない・させない」ための行動をとっていない	31.5%	37.3%	37.4%	32.1%	34.9%	40.2%	24.4%	0.0%	34.9%
受動喫煙を知らない	5.4%	2.8%	7.9%	4.7%	7.9%	12.5%	32.1%	33.3%	10.2%
未回答	1.1%	0.7%	1.1%	3.7%	7.5%	15.3%	24.4%	33.3%	8.3%

問18 COPD（慢性閉塞性肺疾患）という病気を知っていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
どんな病気か知っている	15.2%	18.3%	14.7%	21.6%	20.7%	14.9%	6.1%	0.0%	16.5%
名前は聞いたことがある	17.4%	23.9%	23.7%	27.4%	24.9%	33.1%	17.6%	33.3%	25.5%
知らない	66.3%	57.0%	60.5%	47.9%	51.0%	47.7%	67.2%	33.3%	54.6%
未回答	1.1%	0.7%	1.1%	3.2%	3.3%	4.3%	9.2%	33.3%	3.4%

問19 なんでもよくかんで食べることができますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
なんでもかめる	85.9%	91.5%	80.0%	85.3%	71.4%	59.8%	47.3%	100.0%	73.1%
一部かめない	7.6%	5.6%	16.3%	13.2%	23.7%	32.4%	35.9%	0.0%	20.9%
かめないものが多い	5.4%	2.8%	3.2%	1.1%	2.5%	5.3%	9.9%	0.0%	4.0%
かめない	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.4%	3.1%	0.0%	0.6%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.1%	3.8%	0.0%	1.4%

問20 あなたは噛み方、味わい方といった食べ方に興味がありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
興味がある	14.1%	27.5%	21.6%	28.4%	28.2%	32.0%	36.6%	33.3%	27.9%
どちらかといえば興味がある	41.3%	35.9%	36.8%	36.8%	40.7%	36.7%	27.5%	33.3%	36.8%
どちらかといえば興味がない	21.7%	23.2%	29.5%	22.6%	18.7%	18.9%	12.2%	0.0%	20.9%
興味がない	16.3%	9.2%	5.3%	7.4%	7.9%	6.0%	6.9%	0.0%	7.6%
わからない	5.4%	4.2%	6.8%	4.7%	2.5%	4.3%	11.5%	33.3%	5.3%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	5.3%	0.0%	1.5%

問21 定期的に歯科健診を受けていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
はい	37.0%	53.5%	45.8%	50.5%	52.3%	61.9%	38.2%	0.0%	50.6%
いいえ	62.0%	46.5%	54.2%	49.5%	45.6%	35.9%	58.0%	100.0%	48.0%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	2.1%	3.8%	0.0%	1.3%

問22 歯と歯の間を清掃するための器具（デンタルフロス、歯間ブラシなど）を使っていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
ほぼ毎日使っている	8.7%	17.6%	21.1%	35.8%	34.0%	36.7%	29.8%	0.0%	28.7%
時々使っている	38.0%	50.0%	40.5%	35.3%	29.9%	23.5%	12.2%	33.3%	31.9%
使っていない	52.2%	31.7%	38.4%	27.4%	33.2%	32.4%	47.3%	33.3%	35.6%
その他	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%	0.4%	1.1%	3.1%	0.0%	0.8%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	2.5%	6.4%	7.6%	33.3%	3.0%

問23 年に一度は健康診断を受けていますか。(あてはまるもの全て回答)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
健康診断	72.8%	76.1%	66.8%	70.5%	59.8%	61.2%	66.4%	66.7%	66.2%
人間ドック	0.0%	10.6%	16.8%	20.5%	13.7%	6.4%	0.0%	33.3%	10.9%
がん検診	2.2%	11.3%	12.6%	13.7%	11.2%	13.9%	12.2%	33.3%	11.9%
受けていない	23.9%	14.8%	18.9%	12.1%	22.4%	24.9%	21.4%	0.0%	20.0%
未回答	2.2%	0.0%	0.5%	1.1%	2.5%	6.4%	7.6%	33.3%	3.1%

問24 「食育」について関心がありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
関心がある	22.8%	35.2%	29.5%	27.9%	23.7%	29.9%	32.8%	66.7%	28.8%
どちらかといえば関心がある	28.3%	40.8%	38.4%	41.6%	47.3%	37.4%	27.5%	0.0%	38.7%
どちらかといえば関心がない	20.7%	14.8%	20.5%	16.8%	13.7%	17.4%	9.9%	0.0%	16.2%
関心がない	15.2%	4.9%	5.8%	7.9%	7.9%	2.8%	10.7%	0.0%	6.9%
わからない	12.0%	4.2%	5.8%	3.7%	4.6%	5.7%	14.5%	0.0%	6.4%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	2.9%	6.8%	4.6%	33.3%	3.0%

問25 毎日の食生活で、健康的な食事内容を心がけていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
はい	59.8%	68.3%	70.5%	78.9%	82.6%	85.4%	77.1%	66.7%	77.0%
いいえ	39.1%	31.7%	29.5%	19.5%	14.9%	8.2%	16.8%	0.0%	20.1%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	2.5%	6.4%	6.1%	33.3%	2.9%

問26 具体的にどのような食事を心がけていますか。(問25で「はい」と答えた方で集計)

(あてはまるもの全てに回答)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
食事バランスガイドを参考	6.5%	7.7%	12.1%	12.1%	14.5%	26.3%	21.4%	33.3%	15.8%
1日2食、週5日以上主食・主菜・副菜をそろえる	19.6%	33.1%	33.7%	42.6%	46.5%	50.9%	38.9%	66.7%	40.8%
毎食野菜摂取	35.9%	50.0%	50.5%	55.8%	57.7%	57.7%	45.0%	66.7%	52.6%
脂肪を控える	17.4%	23.2%	23.2%	43.2%	49.0%	50.9%	39.7%	33.3%	38.5%
塩分を控える	17.4%	30.3%	26.3%	47.4%	51.9%	60.9%	53.4%	66.7%	44.6%
適切な食事量を意識	32.6%	29.6%	31.6%	42.6%	49.4%	56.6%	48.1%	33.3%	43.7%
その他	5.4%	9.2%	5.3%	5.3%	6.6%	4.3%	12.2%	0.0%	6.5%
未回答	1.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.8%	0.7%	1.5%	0.0%	0.6%

問27 日頃、野菜やいも、海藻、きのこなどが主に入る料理をどのくらい食べますか。

(1日の合計皿数で集計)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
1皿	7.6%	4.2%	6.8%	6.3%	2.1%	1.4%	0.0%	0.0%	3.7%
2皿	12.0%	12.7%	14.2%	6.8%	10.4%	4.3%	2.3%	0.0%	8.6%
3皿	25.0%	23.9%	25.3%	22.6%	13.3%	11.7%	15.3%	0.0%	18.3%
4皿	23.9%	22.5%	17.4%	18.9%	18.3%	18.1%	11.5%	33.3%	18.4%
5皿	10.9%	14.8%	12.1%	16.3%	17.0%	17.8%	15.3%	0.0%	15.4%
6皿	3.3%	9.2%	7.9%	11.1%	12.0%	12.1%	9.9%	33.3%	10.2%
7皿	1.1%	1.4%	0.5%	2.6%	3.3%	3.9%	0.8%	0.0%	2.3%
8皿	0.0%	0.7%	1.6%	0.5%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.6%
9皿	1.1%	0.0%	0.5%	0.5%	0.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.6%
0皿	1.1%	2.1%	0.0%	2.1%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%
未回答	14.1%	8.5%	13.7%	12.1%	23.7%	27.8%	61.1%	33.3%	22.8%

問28 食品を買う際、どんなことを気にしていますか。(複数回答可)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
賞味期限・消費期限	53.3%	54.9%	65.8%	65.8%	66.4%	68.7%	66.4%	66.7%	64.5%
産地	19.6%	37.3%	34.2%	32.6%	27.8%	32.0%	20.6%	33.3%	30.2%
鮮度	29.3%	47.9%	50.5%	56.3%	61.4%	59.4%	58.8%	33.3%	54.4%
食品添加物	12.0%	23.2%	18.4%	20.0%	19.5%	20.6%	17.6%	0.0%	19.3%
値段	78.3%	71.1%	70.0%	58.4%	49.0%	49.1%	31.3%	33.3%	56.3%
内容量	26.1%	15.5%	16.3%	5.8%	5.4%	7.8%	6.1%	0.0%	10.3%
安全性	15.2%	18.3%	15.8%	26.3%	23.2%	23.5%	22.9%	0.0%	21.4%
おいしさ	38.0%	30.3%	25.8%	26.3%	25.7%	17.4%	22.1%	0.0%	25.0%
話題性	1.1%	2.1%	2.1%	1.1%	2.1%	1.1%	0.8%	0.0%	1.5%
ブランド	3.3%	2.1%	2.1%	1.6%	0.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.5%
簡便性	6.5%	4.2%	4.7%	5.8%	5.4%	2.1%	6.1%	0.0%	4.6%
栄養表示	6.5%	4.9%	5.8%	5.8%	10.0%	7.5%	2.3%	0.0%	6.5%
その他	1.1%	0.7%	0.5%	1.1%	0.4%	2.5%	7.6%	33.3%	1.9%
未回答	2.2%	0.7%	1.1%	1.1%	4.6%	3.2%	11.5%	33.3%	3.4%

問29 農水産物を購入する際、地元産の物を優先したいと思いますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
優先したいと思う	33.7%	43.0%	47.9%	53.2%	56.4%	52.0%	51.9%	66.7%	50.1%
優先したいと思わない	10.9%	8.5%	11.1%	6.3%	5.4%	6.4%	6.9%	0.0%	7.5%
どちらともいえない	54.3%	47.9%	39.5%	40.0%	34.4%	37.4%	32.1%	0.0%	39.3%
未回答	1.1%	0.7%	1.6%	0.5%	3.7%	4.3%	9.2%	33.3%	3.1%

問30 地場産品を使うことの利点は何だと思えますか。（複数回答可）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
生産者がわかる	44.6%	43.7%	47.4%	50.5%	54.4%	47.7%	44.3%	0.0%	48.2%
新鮮	72.8%	82.4%	79.5%	89.5%	89.6%	83.3%	41.2%	66.7%	79.6%
安い	26.1%	22.5%	20.0%	27.9%	24.1%	22.8%	1.5%	66.7%	21.5%
安全	32.6%	26.8%	34.7%	27.9%	41.1%	45.2%	1.5%	66.7%	32.8%
栄養がある	5.4%	6.3%	9.5%	3.7%	6.6%	6.4%	0.0%	0.0%	5.7%
自給率を上げる	23.9%	28.2%	22.1%	27.4%	24.5%	14.9%	0.0%	0.0%	20.2%
特に利点はない	4.3%	6.3%	7.9%	3.7%	4.1%	6.4%	1.5%	0.0%	5.1%
その他	2.2%	4.9%	3.7%	7.4%	2.1%	1.4%	0.8%	0.0%	3.1%
未回答	2.2%	0.7%	1.6%	1.1%	4.1%	5.3%	9.2%	33.3%	3.6%

問31 平塚でとれる地場産品（農水産物）で思い浮かぶものはありますか。（複数回答）

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
しらす	23	35	59	80	90	97	43	2	429
お米	12	48	65	51	67	83	31	0	357
いちご	18	51	60	52	70	52	14	0	317
きゅうり	16	35	47	48	73	59	22	1	301
トマト	11	16	23	25	57	46	10	0	188
小松菜	7	13	26	26	29	45	14	0	160
アジ	3	5	7	7	17	28	16	0	83
さつま芋	1	8	5	13	17	13	9	1	67
ネギ	5	4	5	10	13	20	14	0	71
ほうれん草	0	2	9	14	14	27	3	1	70
キャベツ	2	4	4	3	5	16	5	0	39
大根	2	1	6	5	10	12	7	0	43
里芋	2	3	5	4	9	11	5	0	39
バラ	1	2	4	9	11	4	5	0	36
ブロッコリー	0	1	3	2	12	9	1	0	28
玉ねぎ	2	2	3	5	3	8	2	0	25
サバ	1	1	1	1	3	7	6	0	20
ヤーコン	5	3	3	4	4	3	0	0	22
落花生	1	4	3	4	1	4	0	0	17
イワシ	1	1	0	2	2	4	3	0	13
みかん	2	3	4	1	1	3	2	0	16
湘南ゴールド	2	2	3	5	1	1	0	0	14
白菜	1	0	2	0	1	6	2	0	12
人参	0	0	2	2	1	6	1	0	12
レタス	1	3	0	1	0	3	1	0	9
タタミイワシ	0	1	2	3	2	0	1	0	9
枝豆	0	0	0	1	3	3	0	0	7

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
シイラ	1	1	0	2	1	1	0	0	6
梨	1	0	1	1	1	2	1	0	7
じゃが芋	2	1	0	1	1	1	0	0	6
カオリ麺	0	0	1	1	1	0	0	0	3
カツオ	0	0	1	1	0	0	1	0	3
かぶ	1	0	1	0	0	0	0	0	2
かぼちゃ	0	0	0	0	1	1	0	0	2
湘南レッド	0	0	1	0	0	1	0	0	2
ナス	0	0	0	0	1	1	0	0	2
ピーマン	0	0	0	0	1	0	1	0	2
あさり	0	0	0	0	1	0	0	0	1
エイヒレ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
カオリ小麦	0	0	1	0	0	0	0	0	1
かます	0	0	0	0	0	1	0	0	1
キウイ	0	0	0	0	0	1	0	0	1
クラゲ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ケール	0	1	0	0	0	0	0	0	1
さやいんげん	0	1	0	0	0	0	0	0	1
さわら	0	0	0	0	1	0	0	0	1
トウモロコシ	0	1	0	0	0	0	0	0	1
ナノハナ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
わかめ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
栗	0	0	0	0	1	0	0	0	1
しいたけ	0	0	0	0	1	0	0	0	1
イチジク	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ナメコ	1	0	0	0	0	0	0	0	1
ニラ	0	0	0	0	0	0	1	0	1
ブリ	0	0	0	0	0	1	0	0	1
シクラメン	0	0	0	0	0	1	0	0	1
たちうお	0	0	1	0	0	0	0	0	1
ジョナゴールド	0	0	1	0	0	0	0	0	1

問32 どれくらいの頻度で魚を食べてますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
週に5回以上	3.3%	2.1%	3.7%	5.8%	7.5%	13.5%	23.7%	0.0%	8.7%
週に3~4回	14.1%	16.2%	21.1%	28.9%	38.2%	39.5%	34.4%	0.0%	29.8%
週に1~2回	55.4%	62.0%	52.1%	47.9%	42.3%	35.9%	22.9%	66.7%	44.4%
月に2~3回	18.5%	14.8%	14.2%	13.2%	6.6%	5.3%	7.6%	0.0%	10.3%
月に1回程度	6.5%	4.2%	5.3%	1.1%	0.8%	0.7%	0.8%	0.0%	2.3%
食べない	2.2%	0.0%	2.1%	1.1%	0.4%	0.4%	0.8%	0.0%	0.9%
その他	0.0%	0.7%	0.5%	0.0%	0.4%	0.7%	3.8%	0.0%	0.8%
未回答	0.0%	0.0%	1.1%	2.1%	3.7%	3.9%	6.1%	33.3%	2.8%

問33 どれくらいの頻度で地元産の野菜、果物、花などの農産物を購入できる直売所を利用したことがありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
週に5回以上	1.1%	0.0%	0.5%	2.1%	2.1%	6.0%	5.3%	0.0%	2.8%
週に3~4回	2.2%	2.8%	1.6%	6.3%	10.8%	12.8%	6.9%	0.0%	7.2%
週に1~2回	8.7%	16.2%	14.7%	13.7%	27.0%	28.5%	22.9%	0.0%	20.5%
月に2~3回	14.1%	13.4%	15.3%	17.4%	14.5%	15.7%	11.5%	0.0%	14.8%
月に1回程度	22.8%	36.6%	30.0%	27.4%	25.3%	14.2%	12.2%	33.3%	23.6%
食べない	50.0%	21.8%	28.9%	24.2%	14.5%	13.5%	24.4%	33.3%	22.4%
その他	1.1%	7.7%	7.9%	7.4%	2.5%	5.0%	7.6%	0.0%	5.6%
未回答	0.0%	1.4%	1.1%	1.6%	3.3%	4.3%	9.2%	33.3%	3.1%

問34 「村井弦斎」という人を知っていますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
知っている	25.0%	21.1%	32.1%	38.9%	43.2%	40.2%	32.1%	33.3%	35.3%
名前だけは知っている	22.8%	38.7%	32.6%	36.3%	31.1%	34.2%	28.2%	33.3%	32.8%
知らない	52.2%	40.1%	34.7%	24.2%	23.2%	22.1%	34.4%	0.0%	29.9%
未回答	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	2.5%	3.6%	5.3%	33.3%	2.0%

問35 農林水産業の作業などを体験したことがありますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
ある	71.7%	80.3%	71.1%	70.5%	59.8%	62.3%	58.8%	66.7%	66.7%
ない	27.2%	19.7%	28.4%	28.4%	36.9%	35.2%	35.9%	0.0%	31.2%
未回答	1.1%	0.0%	0.5%	1.1%	3.3%	2.5%	5.3%	33.3%	2.1%

問36 本市の「健康づくり事業」「食育」について、御意見・御要望があれば、お聞かせください。

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未回答	合計
地産地消	3	2	6	2	3	13	6	0	35
食育	0	0	0	3	11	13	0	0	27
行政	0	2	5	3	3	1	3	0	17
アンケート	0	2	0	0	2	4	4	0	12
広報（周知）	0	0	3	5	1	3	0	0	12
学校教育	2	1	1	2	4	1	0	0	11
運動	1	3	2	2	2	2	2	0	14
賞賛	1	0	0	1	1	4	1	0	8
中学校給食	1	3	2	0	2	0	0	0	8
あさつゆ広場	0	3	0	1	0	1	1	1	7
健康づくり	0	0	0	1	0	3	3	0	7
商業施設	0	1	0	2	0	3	0	0	6
事業内容	0	1	1	1	2	1	0	0	6
直売所	0	2	0	0	4	0	0	0	6
健診（検診）	0	1	0	0	3	1	0	0	5
タバコ	0	2	0	1	0	1	1	0	5
学校給食と地産地消	0	1	1	1	2	0	0	0	5
歯の衛生	0	0	0	1	1	0	1	0	3
食品ロス	0	0	0	1	1	0	1	0	3
医療	0	0	0	0	1	1	0	0	2
環境	0	0	0	1	0	0	1	0	2
アルコール	0	0	0	1	0	0	1	0	2
食の安全	0	2	0	0	0	0	0	0	2
企業連携	0	0	1	0	0	0	0	0	1
東洋医学	0	0	1	0	0	0	0	0	1
水	0	1	0	0	0	0	0	0	1
配給	1	0	0	0	0	0	0	0	1

令和元年度 平塚市食育推進計画 予定表

会議名	構成メンバー	平成31年	令和元年								令和2年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平塚市食育推進会議	委員					推進会議開催					文書で確認		推進会議開催
						・食育推進計画の事業に関する調書について					中間評価報告(案)検討		・各指標における中間評価の報告(案)について
						・中間評価アンケート結果に(速報)について							・ホームページ最終案について
						・令和元年度の予定について							・令和2～6年の取り組みについて
平塚市食育推進計画進行会議	関係各課の担当者			進行会議開催	文書で確認					進行会議開催 もしくは文書で確認	進行会議開催		
				・食育推進計画の事業に関する調書について						中間評価報告(案)検討	・各指標における中間評価の報告(案)について		
				・中間評価アンケート結果(速報)について							・ホームページ最終案について		
				・令和元年度の予定について							・令和2～6年度の取り組みについて		
事務局	健康課	・平成30年度事業に関する調書取りまとめ							・アンケート集計結果速報をHP公表				・中間評価結果をHP公表 ・令和元年度事業に関する調書の作成依頼